



ぽけっと・ちよだ
うんどうかいより

全世界の人々がコロナ禍の中で戦い苦しんでいる中、新しい年を迎えることになりました。

まず安心、安全な環境で健やかに生活できることを願うばかりです。ワクチンが開発されても数年はコロナの脅威にさらされた生活になるのではないかとも思います。コロナウイルスとともに生活するという新しい生活様式を模索していかなければならぬと思います。ぽけっとでも去年はとにかく安心安全を一番に考えて、応急的な療育を行ってきました。

しかし今年度はコロナ禍の中でも子どもの成長発達に必要な療育を以前のようにしっかりと提供していかなければならぬと思います。通園においては去年は自粛せざるを得なかつた行事を新しい様式で復活させるための相違工夫をしていかなければならぬと思います。

親子の療育グループは三密を回避するために人数制限や時



ぽけっとをはじめて利用される方は…
まずはお電話にてご相談ください。

<初回相談・予約専用電話>
052-784-5300
<受付時間>
月～金 9:00 ~ 16:30

東部地域療育センターぽけっと
所長 荒川とよ子

名古屋市には子どもたちにとって必要な環境を臨機応変に提供してもらうことや、きめ細かい対応をしてもらえるように要求していきたいと思います。

六〇周年記念事業を行います。社会館は昨年創立六〇年を迎えました。様々な記念事業を企画していましたが、コロナの影響で延期しました。改めて法人としてこの一年を、六〇周年記念事業を行う年として位置付け、四月には法人本部とその周辺地域で「M A C H I フェス」として様々な企画を開催することにしています。地域の皆さんとともに楽しめる企画を準備しています。

東部エリアからは少し離れた場所での開催となります。機会がありましたらぜひお越しください。またこの東部エリアでも六〇周年を記念した取り組みを計画していると考

小原貴史（ぽけっと事務長）

わくわく

2021年1月1日
第13号

<発行>
社会福祉法人
名古屋キリスト教社会館

発行責任者 加藤 淳

〒464-0032
名古屋市千種区猫洞通1-15
東部地域療育センターぽけっと
TEL 052-782-3388

〒463-0053
名古屋市守山区小幡千代田24-17
発達センターちよだ
TEL 052-792-7277

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひいたします

間制限を余儀なくされましたが、子どもにとつてはやはりコロナ禍以降は、まだ場所の確保が必要です。子どもの成長発達はコロナ禍が収まるまで待つことはできません。

名古屋市には子どもたちにとって必要な環境を臨機応変に提供してもらうことや、きめ細かい対応をしてもらえるように要求していきたいと思います。

前川 朝美 様



寄付・寄贈のご報告
地域の方、関係者の皆さまよりご寄贈、ご寄付を頂きました。ありがとうございました。



季節や自然を感じ、楽しいあそびをもつと豊かに

ぽけっと通園部

「落ち葉でいっぱいあそんだよ！」

感染症のことで不安や心配が尽きない日々ですが、子どもたちは毎日とても元気に過ごしています。秋は子どもたちとたくさん散歩に出かけました。

ぽけっとの近くにある平和公園に散歩に行くと、道中にはまつぼっくりやいろ

いろな形のどんぐり、赤く染まつたナ

ンキンハゼの葉や黄色いイチョウの葉がたくさん落ちています。見つけると嬉しそうに「ドングリ！」と拾つてお

友だちや保育者に見せてくれる子、匂

「どんぐりの帽子もついてるね！」と

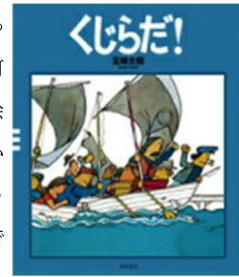
見せると、そーっと触つてみる子、匂

いを嗅いでみる子・・・

「カサカサ音がするね。」と話しながら落ち葉の上を、

バギーや散歩車でまつかな秋など秋の歌を歌いながら、落ち葉を

広げたり、母や姉と一緒にワクワク



おすすめ絵本 「くじらだ！」

作：五味太郎（岩崎書店）

畠の上で、母や姉と一緒にワクワクしながらこの絵本を読んだ光景がくっきり思い出されます。小さい頃は、何度も読んでもらい、今でも大好きな絵本です。この仕事をはじめ、なかなかこの絵本を知っている人がおらず…店頭でも見かけることはありませんでした！

したが、2016年に復刻版が出版されました！

ある村にわたりどりが飛んできて「くじらだ！」と叫びます。みんなくじらを知りませんが、くじらが食べられる生き物だと知り、村人たちが一生懸命探すシーンに「どこにいるんだろう？」とワクワクします。くじらが見つからないと、みんな諦めてしまいますが、ひとりの女の子がわたりどりに尋ね、一緒に空を飛んで探します。そして最後のページで、「くじらだ！」と思わず声が出てしまします。果たしてくじらはどこにいたのか、是非手に取ってワクワクしながら絵本を楽しんでください！

（障害児相談支援事業所ちよだ 丹羽）

ブルーシートを広げてその上にオレンジ色や真っ赤に紅葉した葉っぱを使つて落葉遊びを行いました。



られるあそびを楽しんでいきたいです。

鈴木佳美（保育士）

発達センターちよだ

「おとうさん、だいすき！」

発達センターちよだでは、



毎年さまざまな行事にとりくみ、家族や地域との交流を積極的に行っています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、行事の中止や縮小が余儀なくされる中、「一月一五日秋晴れのもと、ラスごとにとりくみを分けて、検温や消毒などできる限りの配慮をしたうえで開催しました。

年長児が中心のつばめ組は、小幡緑地公園の方々に協力してもらい、お父さんと一緒に「竹ぼっくりづくり」にとりくみました。つばめ組の“竹”と地元の竹橋に挑戦してきました。自然の中にある本物の素材を使ってあそびが広がるといいながら楽しかった。そんな落ち葉を使って、年長さんが初夏に苗植えをして収穫したサツマイモを「焼き芋」をしました。これからも子どもたちと、からだいっぱい季節を感じ

落ち葉をタライいっぱいに入れて降らせたり、そんなお友だちを見て「一緒にやるね。」と話しながら落ち葉の上を、

バギーや散歩車で

まつかな秋など

秋の歌を歌いながら、落ち葉を

広げたり、からだ

が落ち葉を

落として下

り重くて長い竹を引きずつてお父さんまで持つていき、視線やサインで伝える姿に感動しました。次に電動ドリルで穴を開けると、削れた粉が溢れ出るようになってくるのが不思議で、顔をぐつと近づけたり、逆さになつて下から覗いてみたりと興味深々です。素材を変化させるおもしろさを、見て感じてお父さんと一緒に楽しみました。

落ち葉をタライいっぱいに入れて降らせたり、そんなお友だちを見て「一緒にやるね。」と話しながら落ち葉の上を、

バギーや散歩車で

まつかな秋など

秋の歌を歌いながら、落ち葉を

広げたり、からだ

が落ち葉を

落として下

り重くて長い竹を引きずつてお父さんまで持つていき、視線やサインで伝える姿に感動しました。次に電動ドリルで穴を開けると、削れた粉が溢れ出るようになってくるのが不思議で、顔をぐつと近づけたり、逆さになつて下から覗いてみたりと興味深々です。素材を変化させるおもしろさを、見て感じてお父さんと一緒に楽しみました。



* あつたか お味噌鍋（4人分）*

<材料>

- ・鮭の切り身…4切れ
- ・豆腐…1丁
- ・白菜…1/6玉
- ・人參…1/2本
- ・しめじ、舞茸…各1パック
- ・味噌…大4
- ☆【だし汁…1・砂糖…大2・醤油…大1】

<作り方>

- ① 鮭は骨を取ってお好みの大きさに切り、軽く塩を振って10分程置き、キッチンペーパーで水分を取ります。
- ② ☆を鍋に入れて火にかけて、食べやすい大きさに切った野菜を入れます。
- ③ 軟らかくなったら味噌を溶かし入れ、豆腐と鮭を入れます。
- ④ 鮭に火が通たらできあります。

*お鍋は体も温まり、様々な食材を摂ることができますので、免疫力アップにはとても有効的です。上記の材料にこだわらず、様々な食材で楽しんでください♪



口に負けないよう、免疫力アップ！

まだまだ油断できない新型コロナウイルス。また感染者が増えてきており、私たちの身近には「コロナに効く食材はこれ！」「コロナにはこのサプリを！」など、何か特定の食品を摂取することで感染予防ができるなどという情報が流れおり、みなさんも目にしたことがあるのではないでしょうか。

しかし、残念ながら現時点で特定の食品や栄養素を摂取することにより、感染を防ぐことができるという明確な科学的根拠は確認されません。そのような情報や広告などには充分に気を付けましょう。コロナに負けない体を作るには「体内の免疫力を上げる」ことが、とても有効的です。免疫力が上がると、細菌に強くなり、毎日元気に過ごすことができます♪

食事法としては、冷たいものを避け、たんぱく質（肉、魚、卵、大豆製品）、ビタミンA（レバ）、緑黄色野菜）、ビタミンC（緑黄色野菜、果物、芋類）、ビタミンE（魚介類、ナツツ類）、発酵食品（納豆、味噌）、食物繊維（海藻類、きのこ類）を上手に組み合わせて、バランスよく食べましょう。

高山加奈子（ぽけっと栄養士）

